

鳥取県弓ヶ浜砂州の地下水のヒ素汚染の現状

Arsenic contamination of groundwater in the Yumigahama Sandbar, Western Tottori, Japan.

イザベル 静 トーヘス 伊藤[1], 石賀 裕明[2], 道前 香緒里[3]

Izabel Shizuka Torres Ito[1], Hiroaki Ishiga[2], Kaori Dozen[3]

[1] 鳥大・理工・地球, [2] 鳥大・総合理工・地球, [3] 鳥根大・総合理工・地球資源環境

[1] Dep.of Geoscince, Shimane Univ, [2] Department of Geoscience, Shimane Univ, [3] Geosci., Shimane Univ.

鳥取県の弓ヶ浜砂州の地下水からは 0.01-0.2mg/L の濃度のヒ素が検出されている。これらは鉄イオンに關係して存在する。今回ヒ素とともに重金属の濃度を測定した。測定はフレイムレス原子吸光スペクトル分析を行ない、As, Fe, Cu, Cd および Zn の濃度を測定した。土壤試料については蛍光 X 線分析により全岩元素組成を測定し、同時にヒ素と鉄の溶出試験を行なった。その結果を報告する。弓ヶ浜の地下水は農業に活用されてきており、その水質の現状を評価することは重要である。土壤と地下水のこれらの測定により金属元素とヒ素の關係や地下水の水質を左右する酸化還元環境を推定する。